

第1学年

学習内容		時間数	教科書該当頁	学習活動 〔■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動〕
家庭分野ガイダンス		1	11~15	■自立をめざして学ぶ。 ○小学校の学習をふり返り、教科書の口絵や目次から3年間て学びたいことや生活に生かしたいことをまとめる。
A 家族・家庭と子どもの成長	1. わたしの成長と家族 ①わたしの成長 ②わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと	1	18~21	■わたしたちの成長をふり返る。 ○自分たちの成長を家族や身近な人達に聞き、年代ごとに出来事やかわった人達についてまとめる。 ☆自分たちの成長は家族だけでなく、地域や親戚等の支えがあることに気づかせる。
	2. わたしたちと家族・家庭と地域 ①家庭のはたらき ②家庭生活を支える仕事 ③わたしたちの家庭生活と地域	1	22~27	■家庭のはたらき。 ○毎日の生活をふり返り、家庭の仕事を分類する。また、家庭の仕事は主に誰がやっているか印を付ける。 ○地域の活動について話し合い、人々とのつながりて成り立っていることを理解する。 ☆自分の生活や23頁の参考から課題を見つけ、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫する。 ☆24頁を利用し、家庭の仕事が地域や企業でも支えられていることに気づかせる。
	3. 幼児の生活と遊び ①幼児期ってどんな時代？ ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④子どもの成長と家族の役割 ⑤子どもの成長と地域 ⑥幼児の遊びと発達 ⑦幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり	11	28~47	■幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかわり方を考える。 ○近隣の幼児を観察し、幼児の言動や活動、周囲の大人のかかわりを記録する。 ○幼児の体と心の発達について知る。 ☆幼児の成長には個人差があることや周囲の人々のかかわりが大切なことを知らせる。 ○遊び道具の役割を知り、保育体験の幼児の年齢に合ったおもちゃを工夫し、製作する。 ☆おもちゃ製作は、環境についても考えさせ、牛乳パックを利用し2時間で製作できるものとする。
	4. 幼児とのふれ合い ①ふれ合い体験の前に ②ふれ合い体験をする ③ふれ合い体験をふり返る	6	48~55	■課題をもち、ふれ合い体験をする。 ○幼児とのかわり方について考える。 ○自分の課題を決め、ふれ合い体験をする。 ○製作したおもちゃをプレゼントするなどして、ふれ合い体験に生かす。 ○ふれ合い体験について、課題を中心にまとめる。 ☆画用紙を利用し、各自の課題や幼児の特徴等について2時間でまとめ、発表させる。
	5. これからのわたしと家族 ①中学生と家族とのかわり ②これからのわたしと家族との関係	1	56~65	■これからの家族関係を考える。 ○ふれ合い体験を通して、家族の役割について考える。 ○中学生として、家族との関係をより良くすることを考え発表する。
B 食生活と自立	1. 健康と食生活 ①食事について考える ②生活のリズムと食事 ③栄養素のはたらきと食品 ④中学生に必要な栄養 ⑤食事の計画	9	68~87 142~145	■食事の果たす役割と中学生の栄養について知る。 ○食事の役割と健康的な食事について知る。 ○自分の食生活を記録し、課題を見つける。 ○栄養素のはたらきと食品と栄養素の関係を知る。 ☆教科書の栄養素の実験をいくつか行い、栄養素の理解に役立てる。 ○中学生に必要な栄養と必要な食品群の概量を知る。 ☆教科書の実物大の写真や食品群ごとの摂取量を示したページを利用し、必要なおおよその量を理解させ、献立作成につなげる。 ○1日分の献立を立てる。
	2. 食品の選択と保存 ①食品が口に入るまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品 ④加工食品の表示 ⑤加工食品の選び方 ⑥保存のしかたを考える ⑦食品の安全と情報	5	88~101	■用途に応じた適切な食品の選択と保存ができる。 ○生鮮食品と加工食品の表示と良否の見分け方を知る。 ○生鮮食品と加工食品について市場調査を行う。 ☆今後の実習に使うさまざまな食材を例に挙げ、商品の価格や店頭での様子を調べ、発表させ今後の食品の選択に活用させる。

第2学年

学習内容		時間数	教科書該当頁	学習活動 〔■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動〕
B 食生活と自立	3. 調理をしよう ①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理（しょうが焼き） ④魚の調理（さばのみそ煮） ⑤野菜の調理（筑前煮）	18	102~141 228~231	■日常食の調理ができる。 ○調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ○肉の調理上の性質を知り、しょうが焼きの調理ができる。（焼く） ○魚の調理上の性質を知り、さばのみそ煮の調理ができる。（煮る） ○野菜の調理上の性質を知り、筑前煮の調理ができる。（炒める、煮る） ☆3回の実習で、焼く、煮る、炒めるの調理を実習させる。 ☆調理実習を通して、エネルギー消費と水についても考えさせ、実習を行う。 ☆魚や野菜の料理を通して、廃棄率（ごみ）や食料事情についても触れる。 ☆筑前煮の調理では、郷土料理や季節の食材の活用を取り入れながら指導にあたる。
	4. 地域の食材と食文化 ①地域の食材と郷土料理 地域の食材を使った調理 ②受け継がれる食文化 ③地域と世界へ目をむけて			
	生活の課題と実践 夏休みに家族の昼食をつくり、まとめたものを発表し合う	2	246~249	■家族の昼食をつくる。 ○1学期の調理実習を生かし、家族のための昼食づくりをする。 ○まとめたレポートを元に調理の特徴や工夫した点を発表し合う。

学習内容		時間数	教科書該当頁	学習活動 〔■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動〕		
C 衣生活・住生活と自立	1. 日常着の活用 ①衣服のはたらき ②自分らしく目的に合わせて着方 ③衣服の活用と選び方	8	148~173	■TPOを考えた日常着の着用を考える。 ○衣服の社会生活上の機能がわかる。 ○移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着用方を考える。 ○試着のポイントや既製服表示の種類と意味を知る。 ☆表示の学習では、標準服等を活用する。 ☆既製服の選び方では、Dの販売方法と購入方法を併せて学習させる。 ○手入れの必要性と方法について知る。 ○標準服等を利用し、ブラシかけとアイロンかけを実践する。 ○着用しなくなった衣服の利用方法について考える。 ☆選択、衣服気候、リメイクについても触れ、Dの環境について併せて学習させる。 ☆衣服の利用法は3年次の「生活の課題と実践」にも生かせるよう計画を立てさせる。 ☆スナップつけとまつり縫いは、3年次の製作で学習するものし、ここでは取り上げない。		
	2. 日常着の手入れ ①汚れと手入れ ②手入れと表示 いろいろな繊維 ③衣服の洗濯 ④衣服の補修とアイロンかけ					
C 衣生活・住生活と自立	3. 環境に配慮した衣生活	7	174~187	■住まいのはたらきを知り、安全で快適な住まいについて考える。 ○住空間の役割を知り、住宅広告や教科書の住空間例を参考に、家族にあった部屋割りを考える。 ☆家族構成については、複数の例をあげる。発表させ、色々な考え方があることに気づかせる。 ○家庭で行っている安全対策や災害対策を話し合い、自分の家庭の対策について考える。 ☆話し合いから、自分の家庭に必要なものを見つけ、現状でできる対策を考えさせる。 ○室内空調の必要性を知る。 ○目覚まし時計を利用し、身近なものを活用し防音対策を実験する。 ☆教室にあるものを利用し、班ごとで実験させ対策を発表させる。 ☆音の問題は、地域環境にもつながることに気づかせる。		
	1. 住まいのはたらき ①住まいのさまざまな役割 ②共に住まう					
	2. 安全な住まい ①住まいの安全対策 ②災害への備え 地域安全マップをつくらう					
	3. 快適な住まい ①室内の空気調節 ②住まいと音					

第3学年

学習内容		時間数	教科書該当頁	学習活動 〔■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動〕
C 衣生活・住生活と自立	1. わたしや家族の生活を豊かにする工夫	5	188~205	■ファイルカバーを製作する。 ○自分の生活をふり返り、生活に生かせるファイルカバーやブックカバーを製作する。 ○製作手順と要点を知り、製作計画を立てる。 ○ファイルカバー（ブックカバー）を製作する（スナップつけとまつり縫いを取り入れる。）。 ☆各自生活で活用しているファイルの寸法を計り、実生活で活用できるものを製作させる。 ☆適切なファイルが無い場合は、ブックカバーで代用する。
	2. 布を用いた物の製作 ①製作の前に知っておこう ②製作して、活用しよう			
C 衣生活・住生活と自立	生活の課題と実践 衣・住を中心として自分たちの生活の中から課題を見つけ、学んだことを生かし解決する	4	250~253	■衣・住の学習から自分たちの生活の課題解決を図る。 ○学習を生かし、各自の課題を見つけ、解決に向けて計画を立て、実践し、その成果を発表する。 ☆課題が見つけない生徒には「環境に配慮した衣服」で考えたりメイクの実践や教科書の「生活の課題と実践」を参考にさせる。
D 身近な消費生活と環境	1. 家庭生活と消費	5	208~225	■身近な商品から商品の選択と購入について学ぶ。 ○身近な商品を物資とサービスに分類する。 ○筆箱の中身を確認し、適切な商品の選び方をしているか考える。 ☆文房具の使用頻度や購入方法を確認させ、生活情報の活用やマークの意味を知らせる。 ○消費生活でのトラブルと解決方法について学ぶ。 ☆視聴覚教材の視聴や消費生活センターの方を招いて授業を行う。 ○消費者と販売者のロールプレイングを行い、消費者の権利と責任について考える。 ☆環境に配慮した消費行動についても併せて考えるよう指導する。 ○消費者を支える機関や法律について知る。
	2. 商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 ③商品の価格 ④販売方法と支払い方法			
	3. よりよい消費生活のために ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ			
	4. 環境に配慮した生活 ①環境への影響を考える ②エネルギー消費とCO ₂ 排出を減らす ③水を節約し、排水の汚れを減らす ④環境への影響を考えた消費生活 ⑤持続可能な社会へ向けて	3	226~237	■環境に配慮した生活を家族と協力して考える。 ○家庭のエネルギー消費や節水対策について班で話し合い、各家庭で実践し報告する。 ☆消費量を減らすには家族の協力が必要であることに気づかせ、家族にも話し、協力してもらおうようにする。 ○持続可能な社会を考え、選択、購入、使用方法、廃棄まで考える。
3年間をふり返る		0.5		■3年間の学習をふり返る、これからの家庭生活を考える。

技術・家庭 家庭分野 3年間を見通した年間指導計画案 例①

教科書にそって主体的な学習に取り組む

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1年 35時間	学習内容 家庭分野ガイダンス	A 家族・家庭と子どもの成長														B 食生活と自立																					
		1. わたしの成長と家族*1	2. わたしたちと家族・家庭と地域*2	3. 幼児の生活と遊び ① 幼児期ってどんな時代? ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 子どもの成長と家族の役割 ⑤ 子どもの成長と地域 ⑥ 幼児の遊びと発達 ⑦ 幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり										4. これからのわたしと家族*3 ① ふれ合い体験の前に ② ふれ合い体験をする ③ ふれ合い体験をふり返る				5. これからのわたしと家族*3																			
		1	1	1	11										6				1																		
		A(1)ア	A(1)ア	A(2)アイ	A(2)イ(3)アイ, D(2)ア										A(3)ウ				A(2)イ																		
		11~15	18~21	22~27	28~47										48~55				56~65																		
2年 35時間	学習内容	B 食生活と自立														C 衣生活・住生活と自立																					
		3. 調理をしよう ① 調理の計画 ② 調理の基本 ③ 肉の調理(しょうが焼き) ④ 魚の調理(さばのみそ煮) ⑤ 野菜の調理(筑前煮)										4. 地域の食材と食文化 地域の食材を使った調理 地域の食材と郷土料理 ① 地域と世界へ目をむけて ② 受け継がれる食文化 ③ 地域の食材と郷土料理				生活の課題と実践 夏休みに家族の昼食を作り、まとめたものを発表し合う				1 自分らしく着る・快適に着る 1. 日常着の活用 ① 衣服のはたらき 2. 自分らしく目的に合わせた着方 ③ 衣服の活用と選び方 ② 自分らしく目的に合わせた着方				2 快適に住まう 1. 住まいの安全対策 ① 住まいの安全対策 ② 住まいの安全対策 ③ 住まいの安全対策 2. 住まいの安全対策 ① 住まいの安全対策 ② 住まいの安全対策 ③ 住まいの安全対策													
		18										2				8				7																	
		B(3)アイ, D(2)ア										B(3)アイウ				C(1)アイウ, D(1)イ				C(2)アイ																	
		102~141, 228~231										246~249				148~173				174~187																	
3年 17・5時間	学習内容	C 衣生活・住生活と自立														D 身近な消費生活と環境														まとめ 3年間をふり返る							
		3 生活を豊かにする物をつくる							生活の課題と実践							1. 家庭生活と消費 ① 商品購入のプロセス ② 商品の選択と購入							2. 商品購入のプロセス ① 商品購入のプロセス ② 商品の価格 ③ 生活情報の活用								3. よりよい消費生活のために ① 消費生活のトラブルを防ぐ ② 消費者の権利と責任 ③ 消費生活の権利と責任						
		5							4							5							3														
		C(1)ウ(3)ア							C(3)アイ							D(1)アイ							D(2)ア														
		188~205							250~253							208~225							226~237														

* 1 ①わたしの成長
②わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと

* 2 ①家庭のはたらき
②家庭生活を支える仕事
③わたしたちの家庭生活と地域

* 3 ①中学生と家族とのかわり
②これからのわたしと家族との関係

・新教科書はページ数が増え、「発展」や「考えてみよう」等も多く掲載されています。この年間指導計画例は、これらを有効に活用する一例です。

・「D 身近な消費生活と環境」は、3年次での学習のほか、A、B、Cと関連づけて指導に当たるため、A、B、Cの各内容にもDの内容を取り入れるようにしました。

・この年間指導計画案の具体的な学習指導案は裏面に掲載しています。